

# 広げよう！ ～ 関わり・学び ～

福山市立日吉台小学校  
4年学年通信 No. 14  
2022年(令和4年)11月25日

## マラソン記録会のコース練習を行いました

マラソン記録会の目標を子ども達一人一人がもち、学校でのアップアップタイムや帰ってからの時間を活用して体力をつけています。コース練習では、沿道からの応援の声かけがある中、無事に走り終えることができました。本番まであと少し、体調を整え本番を迎えられるよう生活リズムへのご協力を今一度よろしくお祈いします。

私は、マラソン記録会に向けてアップアップタイムや家に帰ってから一生懸命走っています。去年、本番の時に思ったより抜かされました。上位を目指して抜かされたり苦しくなったりしても最後まであきらめず走り切りたいです。

山崎 夢叶

僕のマラソン記録会の目標は、最後まであきらめず、全力で走ることです。一位を目指していますが、それ以上に一生懸命に力を出し切れる記録会にしたいです。

そのために、走るポイントに気をつけて練習をしています。「バランスを取りながら走る」「うでを大きく速く振る」「スタートの反応を速くする」です。

一位になりたいと願っていても一位にはなれないので、残りの時間に練習をしていきます。本番では、いい結果を出して家族に喜んでもらいたいと思います。

向井 飛陽

今年度もマラソン記録会があります。私の目標は、二つあります。一つ目は、人としやべらず一生懸命に走り切ることです。去年の記録会では、友達と話してしまい遅くなり、記録が落ちました。その時のことをとても後悔しています。だから今回は、本気で走ろうと思ったのでこの目標にしました。

二つ目は、最後まであきらめず、歩かずに走り切ることです。この記録会を通して、あきらめずやり切る力をつけたいからこの目標にしました。去年の自分よりもいい記録を目指して後悔のない記録会になるように練習や本番を頑張りたいです。

瀬戸 若菜

コース練習



アップアップタイム



## お知らせ

※本年度のPTCは、中止となりました。ご了承ください。

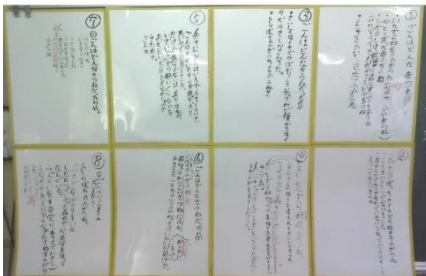


# 国語科「ごんぎつね」を発信しよう

国語科「ごんぎつね」では、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり と結び付けて具体的に想像していきました。「ごん」と「兵十」の関係や、すれ違いが生み出す結末に、子ども達はそれぞれ違った感想や考えをもちました。なぜその感想や考えに至ったのかについて、叙述を根拠に話し合う活動を設定していきました。自分が判断した根拠としたことを他者の根拠と比べることを通して、自分の感想と考えを見つめ直すとともに、作品に対する理解をより深めていきました。単元の最後には、「ごんぎつね」で学んだことを図書館で発信しました。

## グループ交流

ごんは、どんなきつねか？



新美南吉の伝えたかったこと



新美南吉の作品について



- ①あらすじ
- ②新美南吉の伝えたかったこと
- ③新美南吉の作品

自分達が深めたことをポップに表しました。書いた内容をグループで読み合い、読む人に伝わりやすいように内容を考えたり、書き直したりしました。

作者は、命の重さについて考えてもらいたいのではないかと思いましたが、ごんが変わったきっかけは、兵十のおっかあが死んだのは自分のせいだと考えた時だと思えます。今までいたずらばかりしてきたごんが人の死に責任を感じてつぐないをしていきます。最後には、ごんはぬすつごんぎつねとして撃たれてしまいました。命の危険がありながら兵十につぐないを続けたごんの様子をみて、そう考えました。

高垣 沙菜

作者は、正直に生きてほしいということ传达了かと思いましたが、ごんは、今までいたずらばかりしてきました。兵十へのつぐないの時に初めて相手への思いやりがありました。けれども、最後にはぬすつごんぎつねと勘違いをされて銃で撃たれてしまいました。初めから相手のことを思った行動ができていたら、ごんはひとりぼっちではない生活ができていたのではないかと考えたからです。

水成 真翔

作者は、どんな人でも変わることができると伝えたかったのだと思います。ごんは自分のせいで兵十のおっかあを死なせてしまったのではと反省をして行動を改めました。ごんは、ひとりぼちでいたずら好きな子ぎつねですが、兵十へのつぐないを通して、誰かのために行動するようになったと思ったからです。

南谷 清翔